

人民币週間レポート

2026年3月13日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穗銀行

【人民元為替概況】

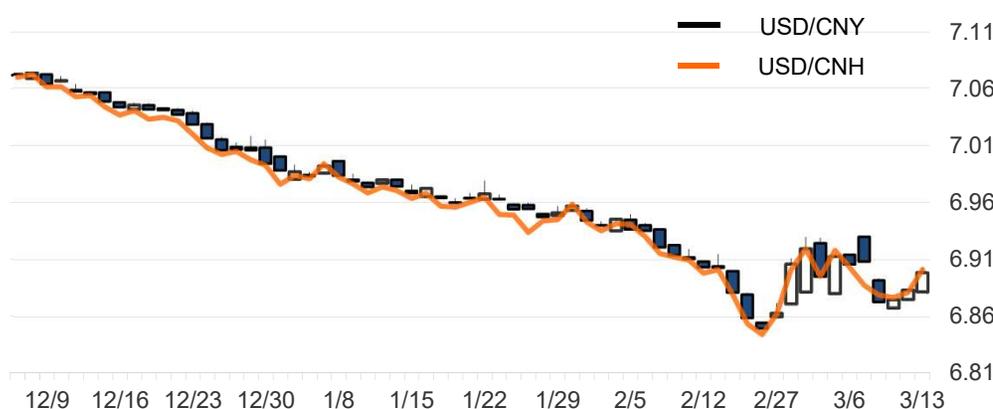
回顧: 中東情勢は終息の兆しが見えず、リスクオフムードが台頭

- ドル人民元(USDCNY)は9日、6.93付近でオープン後、序盤からドル安元高が進行。6.91付近では一時下げ止まり反転するも、G7が石油備蓄の放出について協議したことが伝わると、ドル売り優勢の展開となり下げ幅を拡大。10日はPBOC基準値が前日比元高に設定されたことを受け、6.89台でギャップダウンオープン。6.88付近では下げ渋る場面もみられたが、その後はイラン情勢を巡り情報が錯綜する中、ドル安元高が進行し6.86台まで下落。11日にはIEAが過去最大規模となる石油備蓄放出に合意したと報じられるも、エネルギー輸送混乱への懸念は根強く、為替相場全般に有事のドル買いが進行。12日序盤にかけてドル高が進行し、6.88台を回復。海外時間には6.86台まで下落する場面もみられたが、原油相場の上昇などを受けてドル高が進行する流れにつれて、反転上昇。13日も序盤からドル買い優勢となり、11時時点では6.88水準にて推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は9日、4.36後半水準でオープン。日経平均株価の急落を受けて円安が進行し、ドル円が159円付近まで上昇する動きにつれて、JPYCNYは4.35台まで下落。その後は方向感が出ず、10日にかけてJPYCNYは4.36-4.37のレンジにて上値重く推移。11日以降も原油高やインフレへの懸念から、円売り優勢の展開が継続。特段の反発無く下げ幅を拡大し、12日には4.32割れ水準まで下落。13日11時時点では、4.32付近にて推移している。

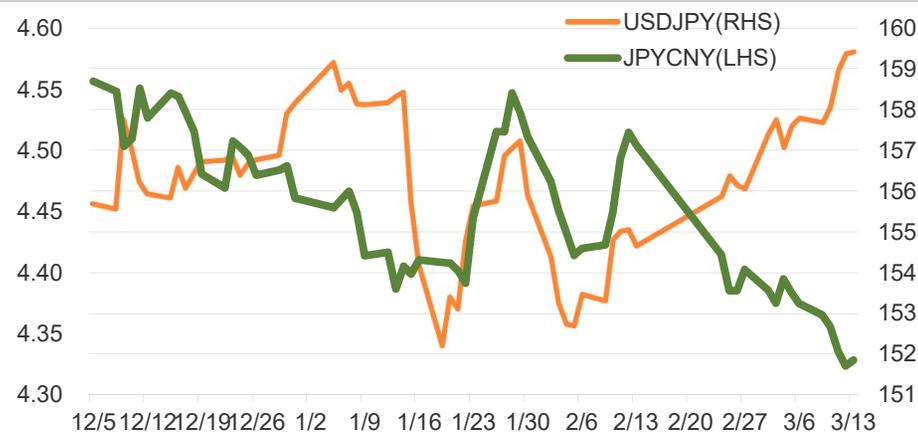
見通し: 引き続き、イラン情勢を巡るヘッドラインで上下する展開を予想

- ホルムズ海峡の実質的閉鎖を受けて、原油やガスなどのエネルギー指標価格は急騰。イラン軍事衝突には終息の兆しが見えず、エネルギー供給混乱が顕在化する中、世界的に物価上昇や景気後退への警戒感が一段と高まっている。グローバルに金融政策運営の舵取りを困難にする材料が散見する状況下、有事のドル買い圧力が掛かりやすい地合いが続くと見込まれる。
- 急速なドル高元安が進行する可能性は低いと見込むが、中東情勢を巡るヘッドライン次第では相場が上下する可能性があり、引き続き留意が必要。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

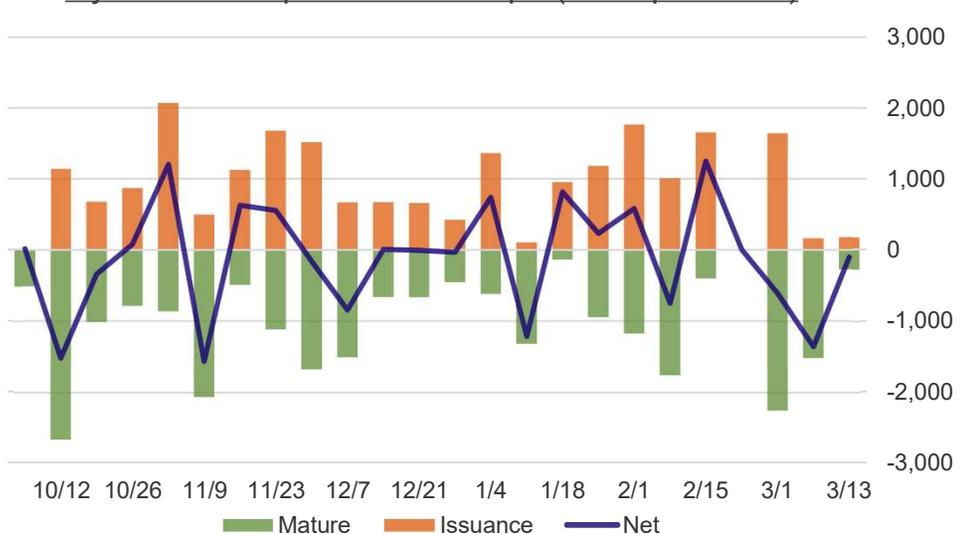
回顧: 短期資金市場はネット資金供給、流動性は潤沢

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計1,765億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで149億元の資金供給となった。
- 短期市場は、PBOCの資金供給オペがネット資金供給となる中、流動性は潤沢な状況が継続。O/N金利は1.3%台で安定推移。
- 債券市場は、2年債利回りは1.35%近辺、5年債利回りは1.55%近辺、10年債利回りは1.82%付近にて推移。

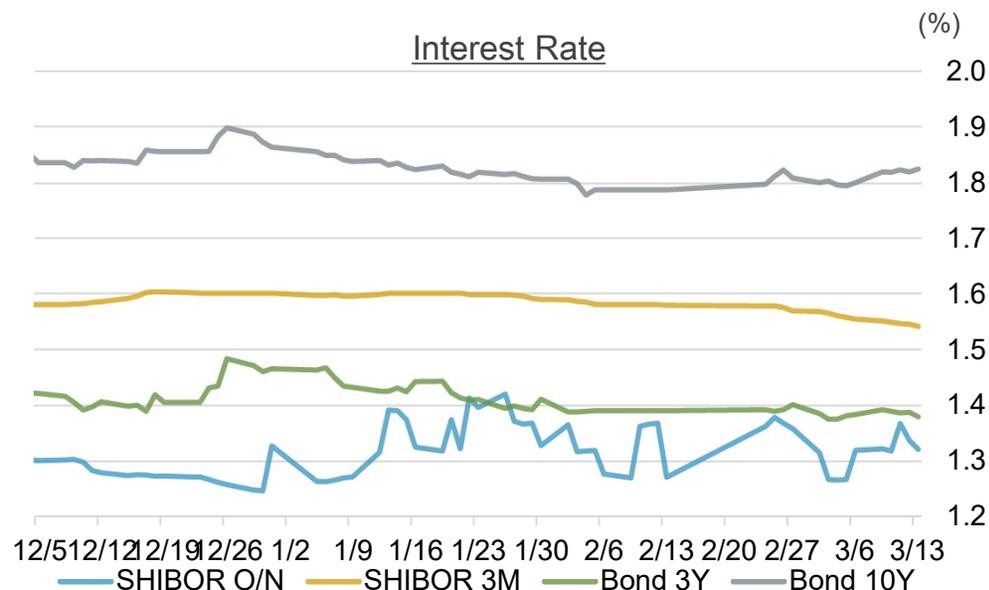
見通し: 来週は税期を控えており、一時的にO/N金利が上昇する可能性も

- 総じて緩和的な金融環境が継続すると見込む一方、来週は税期を控えており一時的にO/N金利が上昇する可能性もあるため留意が必要。また3/20には、1年物・5年物のLPRが発表予定。それぞれ市場では3.0%・3.5%の据え置きが予想されている。
- 米財務省は、ベッセント財務長官と中国の何立峰副首相が3/15-16の2日間、パリで貿易協議を開くと発表。3/31-4/2にトランプ米大統領の中国訪問を控え、北京で開催が予定されている首脳会談に向けて調整を加速すると見られ、注目が集まる。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



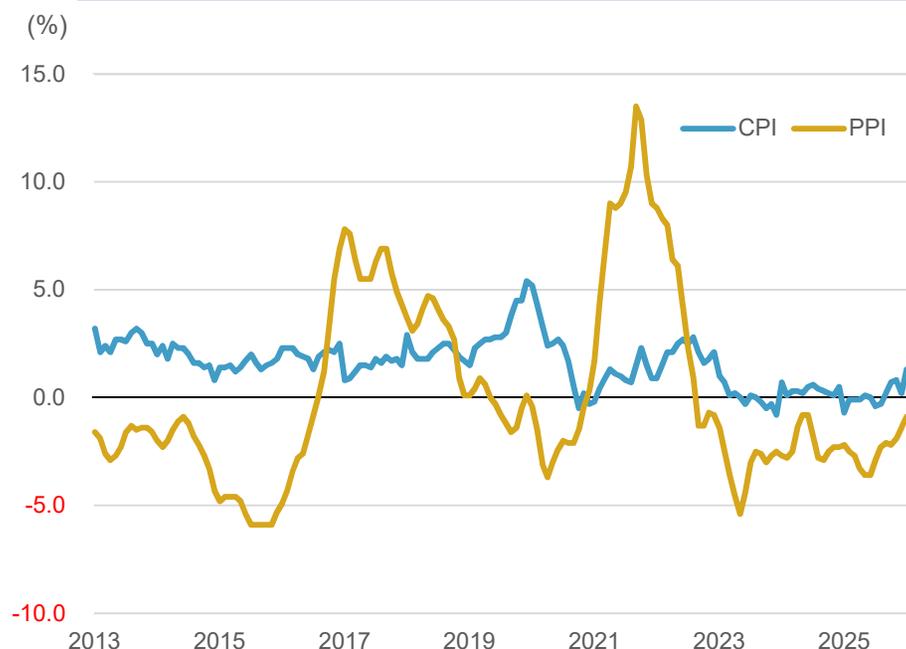
Interest Rate (%)



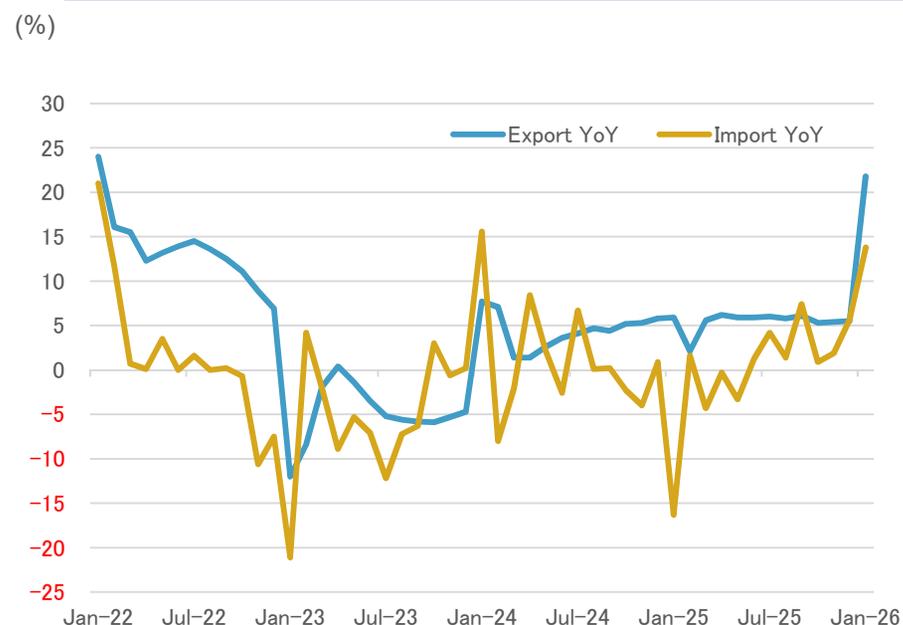
【TOPICS】 中国物価統計・貿易統計が公表

- 3月9日、国家統計局は2月CPI(消費者物価指数)とPPI(生産者物価指数)を公表した。
- CPIは前年比+1.3%(予想:+0.9%、前回:+0.2%)となり、3年超ぶりの大幅上昇となった。食品とエネルギーを除くコアCPIも、同+1.8%(前回:+0.8%)と、2019年以来の高い伸びとなった。春節の連休期間が長かったことを受け、国内旅行や消費支出などが増加。サービス価格の伸び加速が、CPI全体の押し上げ要因となった。
- PPIは前年比▲0.9%(予想:▲1.1%、前回:▲1.4%)と41ヶ月連続のマイナスとなるも、下落幅は縮小。銅など一部コモディティ価格の上昇を受け、鉱業部門での工場出荷価格の下落幅縮小が改善に寄与。デフレ圧力の緩和が示唆される内容となった。
- 3月10日、中国税関総署は1-2月貿易統計が公表した。輸出(ドルベース)は前年同月比+21.8%(予想:7.2%)、輸入は同+19.8%(予想:+7.0%)と、いずれも市場予想を大きく上回る結果となった。貿易収支は2,136億ドルの黒字と、同期間としては過去最高を記録。
- 次回の貿易統計では、米最高裁による関税猶予措置を受けて駆け込みでの対米輸出の加速が示される可能性がある。また米国・イスラエルによるイラン攻撃が長期化した場合、エネルギー関連を中心に貿易フローが変化する可能性が高く、動向には注目したい。

CPI/PPI推移(前年同月比)



輸出入推移(前年同月比)



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
3/9	6.9300	6.9300	6.9042	6.9183	6.9158
3/10	6.8918	6.8935	6.8615	6.8718	6.8982
3/11	6.8675	6.8749	6.8603	6.8700	6.8917
3/12	6.8750	6.8833	6.8655	6.8752	6.8959
3/13	6.8818	6.9034	6.8781	6.9030	6.9007

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.9300	6.9300	6.8603	6.9030
100JPY/CNY	4.3660	4.3728	4.3168	4.3281
EUR/CNY	7.9780	8.0166	7.8927	7.8968
HKD/CNY	0.88593	0.88633	0.87651	0.88162
GBP/CNY	9.2075	9.2664	9.1503	9.1530

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
3/9	6.9101	6.9341	6.8853	6.8875	6.9243
3/10	6.8877	6.8967	6.8605	6.8790	6.8893
3/11	6.8790	6.8820	6.8601	6.8767	6.8680
3/12	6.8767	6.8854	6.8643	6.8813	6.8818
3/13	6.8811	6.9077	6.8778	6.9012	6.8888

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	158.00	159.69	157.28	159.35
EUR/USD	1.1560	1.1667	1.1433	1.1512
EUR/JPY	182.65	184.08	182.30	183.44
GBP/USD	1.3349	1.3483	1.3256	1.3343
AUD/USD	0.6991	0.7187	0.6956	0.7077

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	3/9	LOW	HIGH	3/13
ON	1.3220	1.3180	~	1.3210
1M	1.5392	1.5330	~	1.5330
3M	1.5515	1.5420	~	1.5420
6M	1.5636	1.5560	~	1.5560
1Y	1.5825	1.5760	~	1.5760

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行